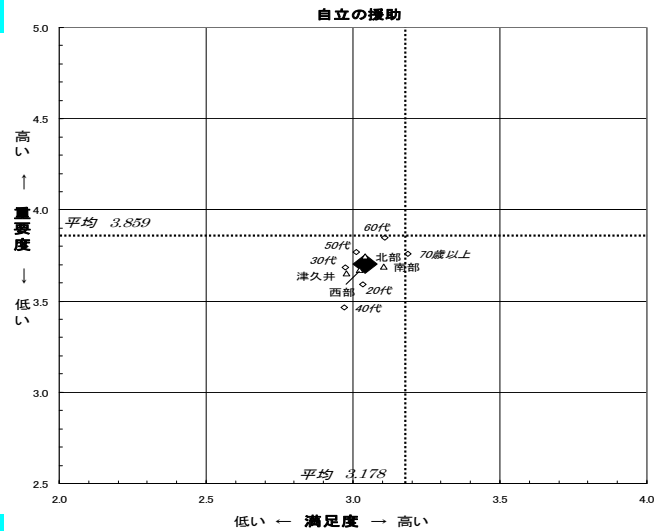


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.041で121施策の中で102番目。
 ○重要度は3.701で85番目である。
 ○改善要望度は-0.0148で65番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は60代で最も高く、40代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は南部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	④ 2 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 ①	4 ② 1	市民満足度調査について前回と比較すると、重要度が低下し、重要度・満足度のいずれの数値も平均値を下回る事業となっている。事業の対象者は生活困窮者や被災者など一部の者であるが、セーフティネットの一つとして継続する必要がある事業と認識している。
合計		5		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	本施策は基本施策「援護を要する人の自立援助」の施策の一つだが、構成事業は、一時的な生活困窮や被災者等一部の者を対象とした補完的な事業である。施策として評価する際には、本基本施策を構成するもう一つの施策「生活の安定」とともに総合的に評価する必要がある。
解決策	「生活の安定」(生活保護に関わるもの)と「自立の援助」(その他)に分けて整理している「援護を要する人の自立援助」について、次期総合計画において、これらを統合して整理するよう検討する。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

施策目的を考慮した適正な課題抽出になっていない。 ⇒上記のとおり、対応済み。	2次評価 B
---	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

本施策は、「11410生活の安定」の手段として整理・統合を検討する必要がある。	3次評価 B
---	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業 担当課	構成事務事業	H19決算見込 (事業費)	H20予算 (事業費)	H21見込額 (事業費)	事業効果 の高い 指標番号	前回の 優先順位	H17人員 (人)	H17決算額 (事業費)	H17合計 (人件費含む)
地域福祉課	低所得者緊急援護 貸付資金交付金	1,950	1,500	1,500	1	1	0.00	1,800	1,800
地域福祉課	災害緊急特別融資預託金	1,000	10,000	10,000		2	0.00	1,000	1,000
地域福祉課	生活福祉資金 利子補給交付金	141	182	182		3	0.00	137	137
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		3,091	11,682	11,682			0.00	2,937	2,937